

金子校区の人口

男	5,396人
女	5,749人
計	11,145人
世帯数	5,423世帯
(令和2年9月末日現在)	

地域交流センターだより

(ふれあい金子)



(発行所)

庄内町一丁目14番7号

地域交流センター

電話 34-6320

FAX 34-3289

E-mail

kanekou@city.niihama.ehime.jp

地域交流センター三世代交流事業

史上最強の神頼み大作戦！

完成報告

しめ縄を作って神様をお迎えし、アマビエ様に疫病退散を願う！

疫病を防ぐ！？アマビエ伝説

伝説の舞台は江戸時代の肥後国(現在の熊本県)。ある春の夜のこと「毎晩、海の向こうに謎の発光物体が現れる」という報告を受け、役人と漁師たちが海辺に調査にやってきました。しばらく海を眺めていると、闇夜の波間に青白い光がぼっと現れ、彼らの方へゆっくりと近づいてくるではありませんか。鳴き声と共に海から現れたその光る物の姿は、3本足に、鱗のある体、そして…くちばしのついた顔。普通であれば、ギャ〜〜ッ!と腰を抜かしてしまうような怪物の登場ですが、その場に居合わせた人たちは、不思議と恐怖感を感じず、その姿をじっと眺めていたそうです。



「私は、海中に住むアマビエである。」

「もしも疫病が流行したら、私の姿を描いた絵を人々に早く見せなさい。」

このように予言したあと、アマビエと名乗るその不思議な怪物は、静かに海の中へと帰って行きました。



しめ縄飾りの由来。

農耕民族だった日本人にとって、五穀豊穡の神である年神様は大事な神様です。また、生きる力や幸せをもたらしてくれるといわれていることから、古くからしめ縄を飾って年神様を迎える準備をします。

こんな不目田な時代たけれとも、想像力と創造力だけは自由にたくましく広げていってほしい!そんな願いと、一刻も早いコロナ終息の願いも込めて作り始めたはりぼての巨大アマビエとしめ縄飾り...金子校区三世代総力をあげての作業で12月26日(土)とうとう完成しました!

旅行もままならないコロナ禍の中、自由におじいちゃんおばあちゃんに会いに行けない子どもたち、自由に帰省できない学生、会いたい人に当たり前に会える時代でなくなったけれども、私たちのそばには、力になってくれる大人も、かわいい声の子どもたちもいます。金子校区三世代がにぎやかに笑いながら集えた素敵な一日でした。

アマビエちゃんは3月末まで市役所のロビーに展示されることになりました。